

学校新聞



〈第46号〉

東陽

編集・発行

豊橋市立東陽中学校

〒440-0022

豊橋市岩崎町字野田1-2

TEL(0532)62-8116

touyou-j@toyohashi.ed.jp

二つのタイプ

校長 石積 紀尚

ある心理学者によると、自分の能力についてどう考えるかで、人は二つのタイプに分かれるそうです。一つは「人間の能力は生まれつきのもので、努力しても限界がある」と考えるタイプともう一つは「人間の能力は意志と努力によって変えられる」と考えるタイプです。この二つのマインドを比較してみると、前者は周りの人に「よく見せたい」、自分の能力を周囲に証明したいと思う傾向があるので「恥をかくから、失敗したくない」と考え、「難しいこと、困難なことはやりたがらない」と行動にブレーキをかけてしまうそうです。一方、後者は「能力は努力によって伸ばすことができる」と考え、成長することを目的に努力するので、たとえ失敗しても「次こそは…」と新たに挑戦しようとするそうです。心理学者の先生によると、中学校一年生の頃から前者が急増するそうです。原因としては、周りの人の影響で、「そんなの無理だよ」という周囲の声に対して、自分自身も

「やっぱりそうだよな、無理だよな」と思いついてしまえば、自分で制限をかけてしまうからだと思います。自分の可能性や能力をあきらめてしまうのか、伸ばしていくのかは自分の考え方によるということです。元プロ野球選手のイチローも「努力せずに何かできるようになる人のことを天才」というのなら、僕はそうじゃない。努力した結果、何かができるようになる人のことを天才というのなら、僕はそうだと思う。」と述べています。

卒業生は新たな進路へと進みます。それは人生にとっても大きな節目にあたり、自分自身を変える大きなチャンスでもあります。考え方ひとつでこれからの人生が大きく変わります。自分の中に限界をつくらず、自分の夢や目標に向かって努力をしてほしいと思います。

最後に、保護者及び地域の皆様、今年度の教育活動もコロナの影響を受けてしまいましたが、子どもたちは前向きに頑張ることができました。これもまた、皆様の温かいご支援とご協力によるものと感謝申し上げます。誠にありがとうございます。



令和5年度

10月までの主な行事予定

【4月】

7日 入学式・始業式

24日 一年オリ合宿（～25日）

27日 PTA総会

授業参観

【5月】

22・23日 中間テスト

【6月】

3日 部活動保護者会

資源回収

5日 三年修学旅行（～7日）

18日 豊橋・学校ののちの日

21日 期末テスト（～23日）

【7月】

10日 保護者会

持ち寄り資源回収（～12日）

【9月】

15・16日 東陽祭

【10月】

2・3日 中間テスト

26日 合唱コンクール

※現時点での予定ですので変更になることもあります。

令和4年度 学校評価アンケート結果より

「そう思う」「どちらかというと思う」の合計を前年度と比較して

(80%以下の項目)

	「↑、↓」は5%以上の上下	保護者				生徒				教職員			
		4	3	上	下	4	3	上	下	4	3	上	下
学 校	1 東陽中学校の教育目標・経営方針を心にとめて教育活動に取り組んでいますか。	82.6%	83.0%			81.6%	84.1%			91.9%	97.4%		↓
	2 魅力ある教育活動が展開されていると思いますか。(ソーラン踊り、東陽祭、合唱コンクール等)	81.2%	70.9%	↑		86.3%	82.7%			83.8%	82.1%		
	3 家庭との連絡・相談が積極的にできていますか。	76.9%	67.0%	↑		66.8%	70.5%			89.2%	92.3%		
	4 学校からの情報を家庭・地域に十分発信できていると思いますか。	67.6%	65.2%			76.7%	81.4%			81.1%	92.3%		↓
	5 学校の施設・設備に満足していますか。	68.2%	72.1%			62.4%	75.7%		↓	75.7%	84.6%		↓
学 習	6 学力をつけるための効果的な学習活動を展開していると思いますか。(少人数指導、教科コンクール等)	73.2%	75.8%			85.1%	84.8%			73.0%	89.7%		↓
	7 学習3原則(忘れ物なし・チャイム前着席・挨拶)の徹底が図られていますか。	78.4%	78.2%			83.6%	84.9%			75.7%	79.5%		
	8 わかる授業が行えていると思いますか。(基礎基本の徹底・学習目標の提示・授業日記の継続・補充学習の充実等)	69.0%	68.5%			78.8%	80.2%			80.6%	92.1%		↓
	9 生徒はわからないことを質問したり聞いたりして、解決できていますか。	50.2%	51.8%			78.0%	73.4%			91.9%	97.4%		↓
	10 課題の提出の徹底を図っていますか。	59.4%	54.8%			78.1%	79.2%			62.2%	76.9%		↓
	11 朝の読書の継続は教育効果があると思いますか。	60.5%	59.7%			71.2%	81.0%		↓	97.3%	97.4%		
生 活	12 生徒は楽しく学校に通ってきていると思いますか。	80.2%	81.4%			76.5%	75.9%			94.6%	97.4%		
	13 挨拶ができるように十分な指導がなされていると思いますか。	71.8%	68.8%			83.8%	83.4%			81.1%	92.3%		↓
	14 時間が守れるように十分な指導がなされていると思いますか。	75.1%	70.3%			89.1%	88.3%			78.4%	89.7%		↓
	15 不審者・登下校時の安全に対する指導が十分になされていると思いますか。	84.0%	79.6%			90.9%	90.5%			75.7%	92.3%		↓
	16 東陽中は清掃や環境整備が行き届いていると思いますか。	84.0%	84.5%			86.1%	90.2%			70.3%	76.9%		↓

「そう思う」「どちらかというと思う」の合計を前年度と比較して

(80%以下の項目)

	「〇、△」は5%以上の上下	保護者				生徒				教職員									
		4	3	上	下	4	3	上	下	4	3	上	下						
特 別 活 動	17	生徒は、学年・学校行事に積極的に参加していますか。	86.9%	81.8%	↑					87.6%	84.0%					94.6%	97.4%		
	18	生徒会・委員会活動が活発だと思いますか。	75.8%	76.0%						76.0%	79.4%					75.7%	94.9%		↓
	19	部活動に活発に取り組んでいると思いますか。	85.8%	71.8%	↑					86.0%	83.9%					97.3%	97.4%		
	20	生徒一人一人に対して適切な進路指導ができていますか。	73.7%	68.2%	↑					80.4%	77.2%					86.5%	87.2%		
教 員	21	生徒の気持ちを理解しながら悩みや相談事などを聞いていますか。	72.8%	73.2%						79.7%	86.0%		↓			94.6%	94.9%		
	22	生徒の努力やがんばりを認め、励ましていますか。	85.9%	81.2%						83.6%	85.8%					97.3%	97.4%		
	23	いじめやけんかがあったとき迅速に対応していますか。	76.9%	75.1%						79.5%	85.3%		↓			97.3%	94.9%		
	24	職員集団は、互いに連携して教育活動にあたっていると思いますか。(気になる生徒・外国人生徒の指導・報連相等)	78.8%	77.9%						83.9%	87.1%					89.2%	94.7%		↓

令和四年度

教育活動を振り返って

新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、年度当初に予定していた行事も計画的に行うことができました。特に、合唱コンクールは三年ぶりに、手仕事屋さち兵衛さんを迎え、開催することができました。来年度も、生徒が自主的に活動できる教育活動を推進していきたいと思えます。

学校評議員会

活動報告

【本年度の主な活動】

◆ 第一回評議員会

六月八日

・ 教育活動の説明

・ 委嘱状の交付

◆ 第二回評議員会

二月九日

・ 一年間の活動報告

・ 学校関係者評価

過去二年間、新型コロナウイルス感染症拡大のため、紙面開催となりましたが、本年度は予定通りに開催することができました。評議員の方からは、コロナ禍においても愛情をもって学校経営にあたってほしいという貴重なご意見をいただきました。学校評価や関係者評価を参考にして来年度、学校経営を進めていきたいと思えます。

【来年度改善への視点】

- ◎ 学校・家庭・地域との連携
 - ・ 家庭、地域から信頼される学校経営
 - ・ 学校と家庭・地域との双方向での情報発信
 - ・ 地域行事への中学生の積極的な参加
- 基礎学力の向上
 - ・ 各教科の課題や平日・休日課題の質の向上
 - ・ 少人数指導（生徒の希望による習熟度別学習）の充実
 - ・ 自発的に学習できる生徒の育成
- 充実した学校生活
 - ・ 生徒が主体的に活動できる行事への取り組み
 - ・ 生徒一人一人に寄り添う支援活動の充溢
 - ・ 入試制度変更に対応した適切な進路指導の推進

一年を振り返って

三年生

この三年間はいつも新型コロナウイルス感染症と共にありました。入学してすぐに自宅待機期間となり、再登校できたのは約一か月後でした。オリ合宿の中止、分散登校、武道場や金工室での授業など、中止と延期の連続で「当たり前」にやれていたことができなくなり、生徒たちに悔しい思いをさせてばかりでした。そういったことを受けて、今年度の学年目標は「常勝」最高・最強の学年を目標として」にしました。どのような困難な状況でも、目標に向かって力強く活動できる集団になってほしいという願いを込めました。

今年度は最高学年として、自分の進路決定に向けて、大事な場面で自分の力を発揮する「勝負どころ」がたくさんありました。体育祭では団の後輩を応援するために、団旗を振って走り回り、授業で出された問題にも粘り強く取り組み、校舎に感謝の気持ちを込めて丁寧に掃除をするなど、生徒達は本当にすばらしい姿を見せてくれました。

三年間生徒達がんばることができたのは、保護者の方の温かい支えもたくさんあったからだと思います。ご理解とご協力に本当に感謝しています。ありがとうございます。

二年生

二年生になって最初の学年集会でこんな話をしました。「中学二年生は、一般的には、なかだるみの学年と言われます。つまり、気が緩みやすいということ。だからこそ、この時期にがんばることができたら、確実に力を伸ばすことができるのです」と。この一年間は、どんな一年だったでしょうか。

総合的な学習では、「search for your future」のテーマのもと、自分の将来について学習してきました。興味のある職業を調べて発表したり、職業に関する講演を聞いたりとともに、職業適性を実施して、分析を行いました。講演会では、新聞記者、イベントクリエイター、元劇団四季の役者の3名を講師としてお招きし、働く意味ややりがい、大変さなど、さまざまな視点でお話をいただきました。学習を通して、自分の将来について考え、それに向けてどのような準備や努力が必要なのかを知ることができました。また、「迷っても、まずは挑戦することが大事だと思った」「何度でもやり直しができると思った」と、働くことについて、前向きな意見が聞かれました。

来年は受験生です。将来を見据え、自分に合った進路選択ができるようにしていきたいでしょう。また、最高学年として、さまざまな場面で輝く姿を期待しています。

一年生

一年が終わろうとしています。東陽中学校で過ごしたこの一年はみなさんにとってどんな一年でしたか。あつという間に過ぎた日々だったのではないのでしょうか。中学一年生は初めてづくし。いろいろな初めてを経験しました。テストや部活、行事などさまざまな経験を積みました。また小学校の時と違った先輩方の表情も大人に見えたのではないのでしょうか。今度はみなさんの番です。先輩として後輩たちのお手本となる番です。

この一年で大きく成長した一年生。新入生説明会の準備にとりかかっていると、ある生徒がこんなことを言っていました。「六年生の時は、中学校って怖いイメージだったから、そんなことないよって伝えたい」と。そこで何が怖いイメージだったのかと聞くと「先生や先輩が、でもやることちゃんとやってくれば怒られることはないし」という答えが返ってきました。四月の学年集会で、中学生って時には子どもにも大人にも見られるから難しい時期なのだという話をしましたが、その生徒は確実に大人への階段を登っているのだなと感じました。「まだ子どもなんだから」「もう中学生なんだから」我々もこんな思いや言葉を使って、子どもたちの思考を混乱させてしまうことがあります。しかし、確実に成長はすすんでいます。どんな経験をして、どんな先輩や大人になっていくのか楽しみます。